

2027年3月期 第1四半期 決算補足資料

株式会社 き も と

2026年7月30日

1 2027年3月期 第1四半期 決算について

2 高機能材料事業

3 デジタルツイン事業

4 第6次中期経営計画進捗

5 会社概要

2027年 3 月期 第 1 四半期実績 前年比 [連結]

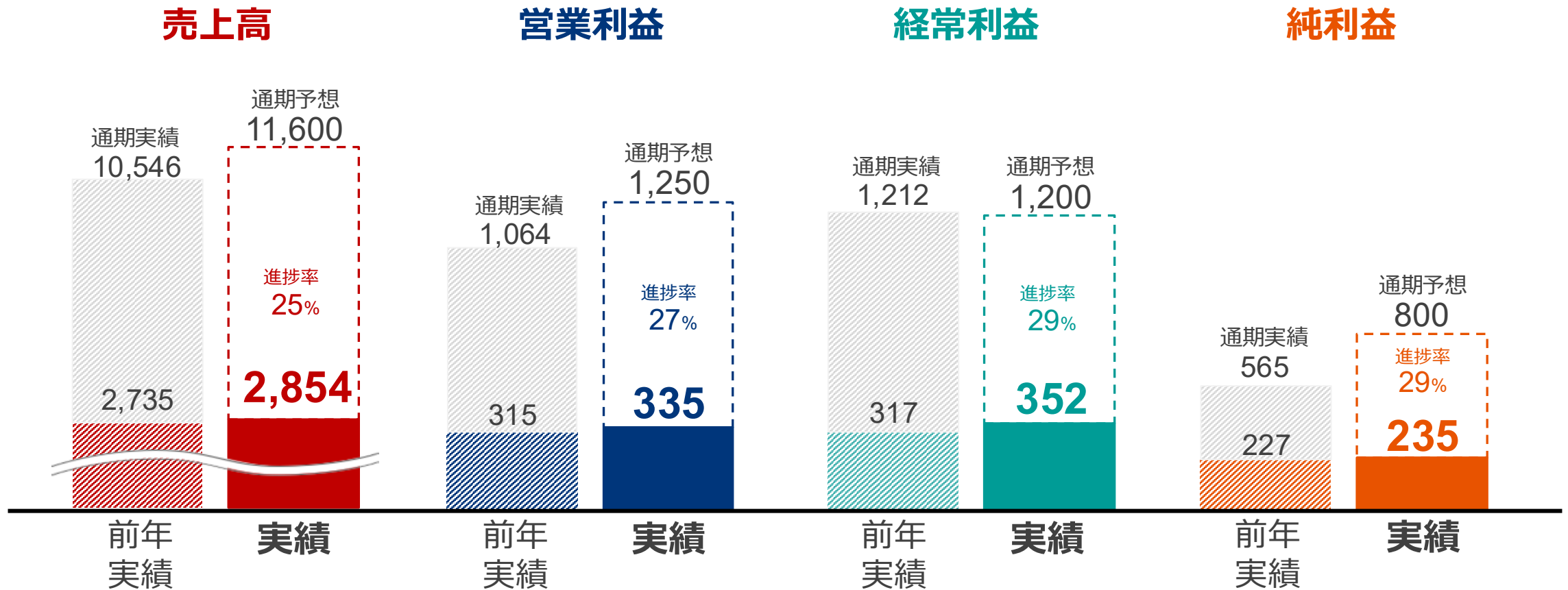
■ 通信機器向け製品は新機種の量産開始により好調に推移し、電子部品製造工程用製品や産業機器向け製品も堅調に推移して売上・利益に貢献しました。輸送機器向け製品は欧州の自動車生産低迷の影響を受けたものの収益を維持しました。

	2027年 3 月期 通期 予想	2027年 3 月期 第 1 四半期	2026年 3 月期 第 1 四半期	増減	増減率(%)
単位：百万円					
売 上 高	11,600	2,854	2,735	119	4.4
売 上 総 利 益	-	1,128	1,086	41	3.9
販 売 管 理 費	-	793	771	21	2.8
営 業 利 益	1,250	335	315	20	6.4
経 常 利 益	1,200	352	317	35	11.2
税 引 前 利 益	-	346	316	29	9.5
純 利 益	800	235	227	8	3.5
一株当たり純利益（円）	18.32	5.40	5.05	-	-

損益計算書 前年・予想比 [連結]

- 中東情勢の影響については一定程度織り込んだうえで業績予想を策定しておりますが、事業環境や需要動向を慎重に見極めながら予想通りの着地に向け、活動してまいります。

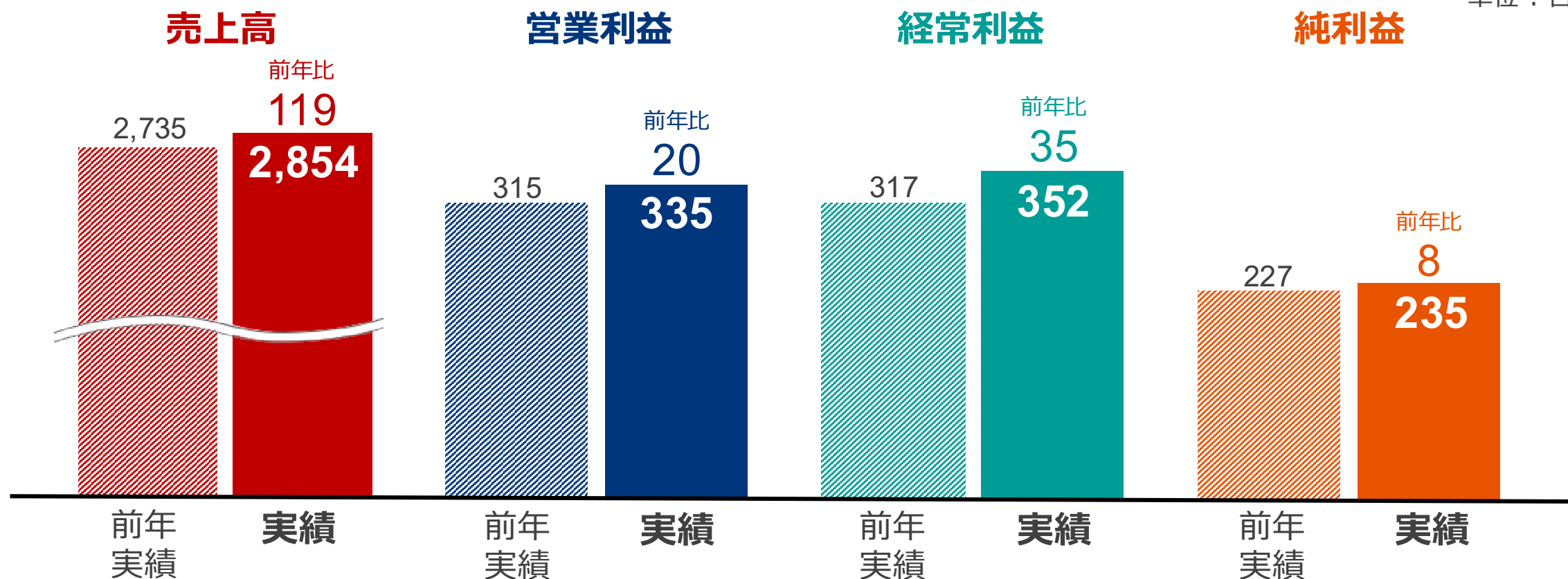
単位：百万円



損益計算書 前年比・主な変動要因 [連結]

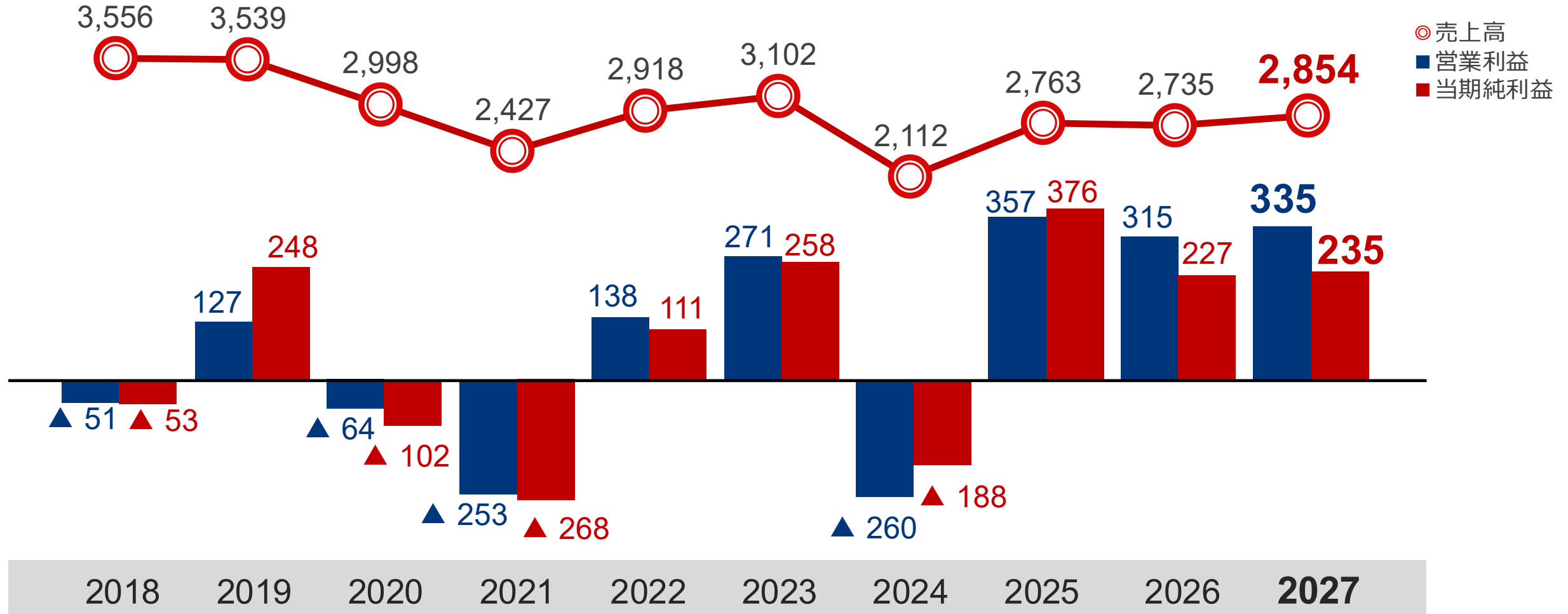
- 通信機器向けの遮光製品・粘着製品をはじめ、輸送機器向け粘着製品や産業機器向けハードコート製品・遮光製品の販売が順調に推移し、売上・利益の拡大に貢献。価格改定前の駆け込み需要も収益を押し上げ、増収増益となりました。

単位：百万円



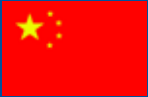
売上高・営業利益・純利益 [連結] 2018年3月期～2027年3月期 第1四半期比較

単位：百万円



KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本	アメリカ	スイス	中国
					
売上高	2027年 3 月期 第 1 四半期	2,652	229	83	28
	2026年 3 月期 第 1 四半期	3% UP 2,578	49% UP 153	37% DOWN 132	182% UP 10
営業利益	2027年 3 月期 第 1 四半期	385	▲ 32	▲ 9	▲ 13
	2026年 3 月期 第 1 四半期	370	▲ 32	▲ 0	▲ 21

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

KIMOTOグループトピックス

日本



通信機器向けは中国市場低迷の影響を受けたものの、新機種量産開始で遮光製品が順調に推移し、粘着製品も堅調に推移しました。電子部品製造工程用製品も堅調となりました。輸送機器向けにおいては粘着製品が着実に推移し、産業機器向けも順調に推移しました。

アメリカ



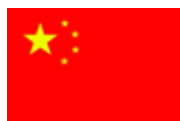
販売構成の見直しや新規顧客の開拓により、業績は前年同期比で回復基調となりました。今後も市場開拓や収益性の向上を進め、持続的な収益改善に取り組んでまいります。

スイス



白物家電市場には回復の兆しが見られる一方、自動車産業の低迷など厳しい事業環境が継続しています。このような状況の中、医療・エネルギー・FA分野を中心とした新規市場の開拓を推進し、業績回復に取り組んでまいります。

中国



LiDAR案件の受注減が続く中、トンネル内ひび割れ調査案件やソフト開発が堅調に推移し、業績改善に寄与しました。引き続き3Dモデル作成技術の開発を推進し、競争力強化と売上・利益の拡大による業績回復を目指します。

【日本】売上構成

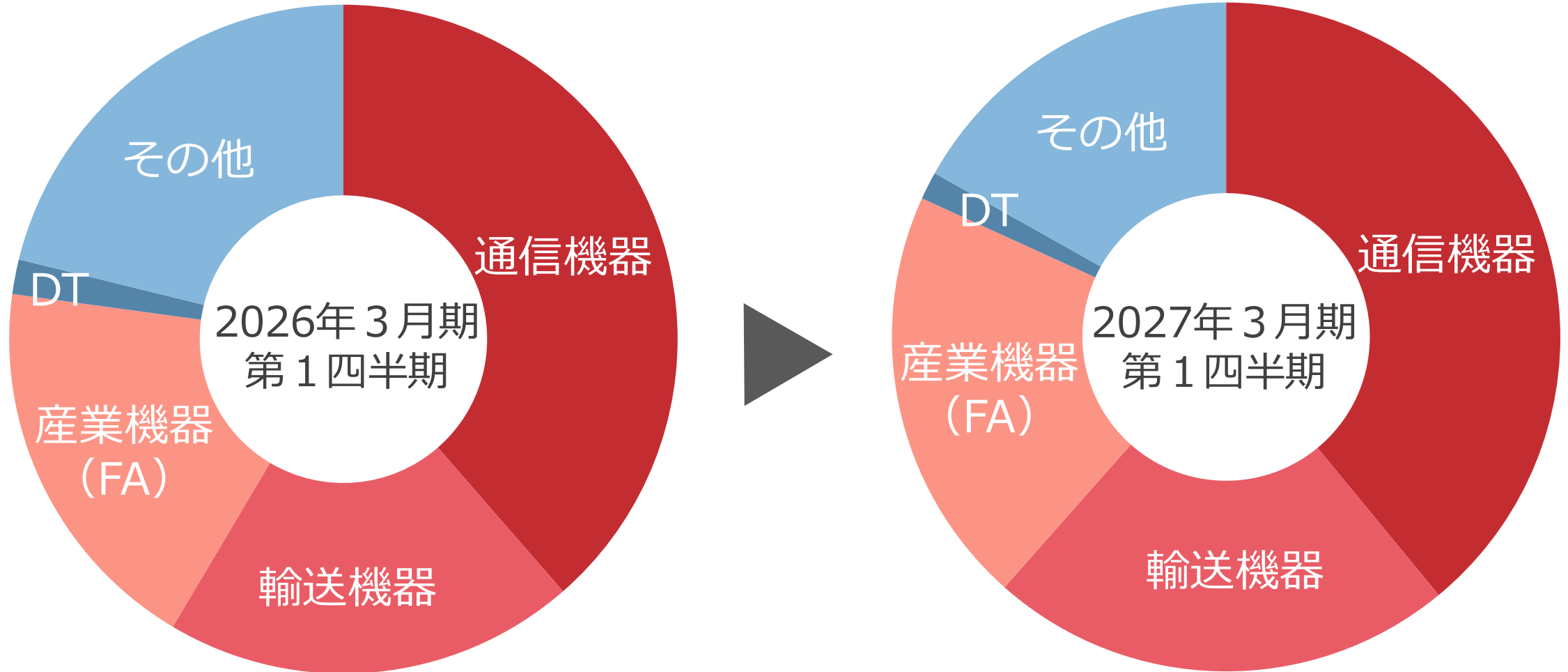
単位：百万円

	2026年 3 月期 第 1 四半期	構成比	2027年 3 月期 第 1 四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	2,535	98.3%	2,616	98.7%	81	3.2%
通信機器	994	38.6%	1,035	39.0%	40	4.0%
輸送機器	514	19.9%	597	22.5%	83	16.1%
産業機器	480	18.6%	537	20.3%	57	11.9%
その他	545	21.2%	447	16.9%	▲ 98	▲ 18.1%
デジタルツイン事業	43	1.7%	35	1.3%	▲ 7	▲ 17.7%
3D	8	0.3%	7	0.3%	▲ 0	▲ 2.9%
2D	17	0.7%	17	0.6%	▲ 0	▲ 0.0%
コンサルティング	8	0.3%	0	0.0%	▲ 8	▲ 97.0%
その他	9	0.4%	10	0.4%	0	9.6%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【日本】売上構成

- 通信機器向け・産業機器向けが堅調、輸送機器向けは欧州での自動車生産低迷の影響を受けたものの、底堅く推移しました。



【アメリカ】 売上構成

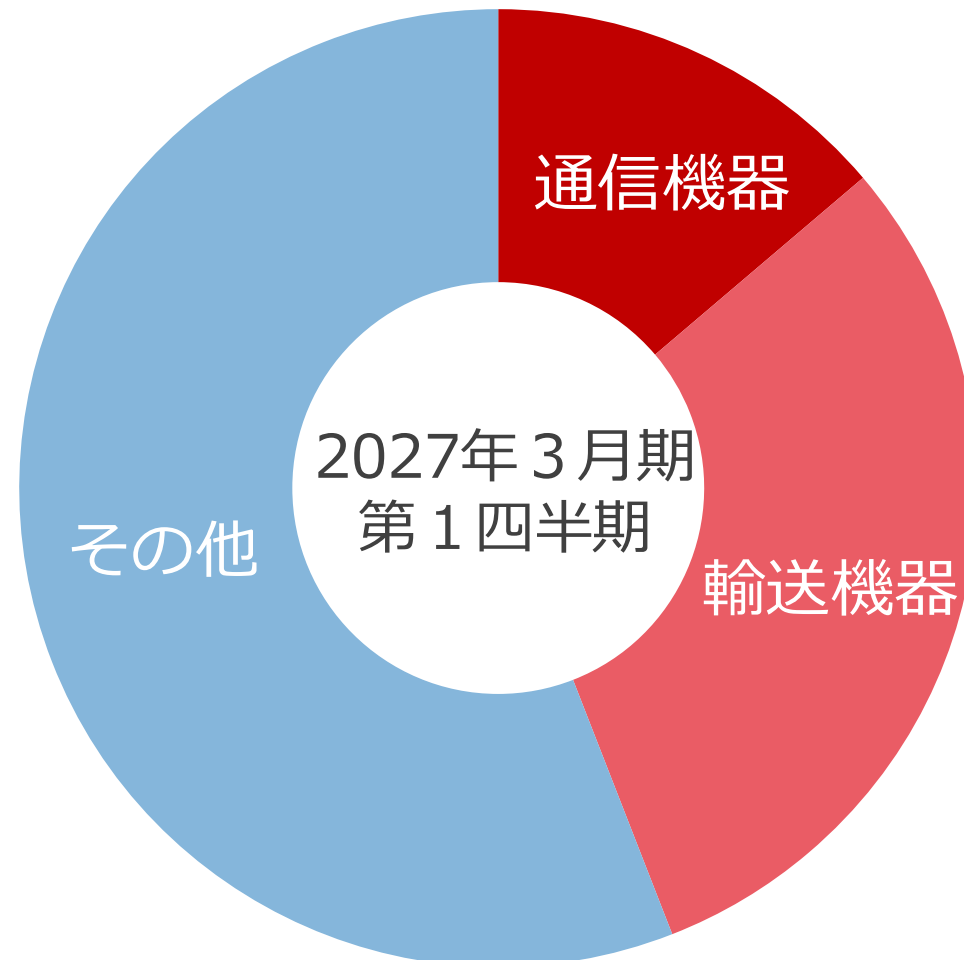
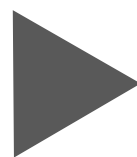
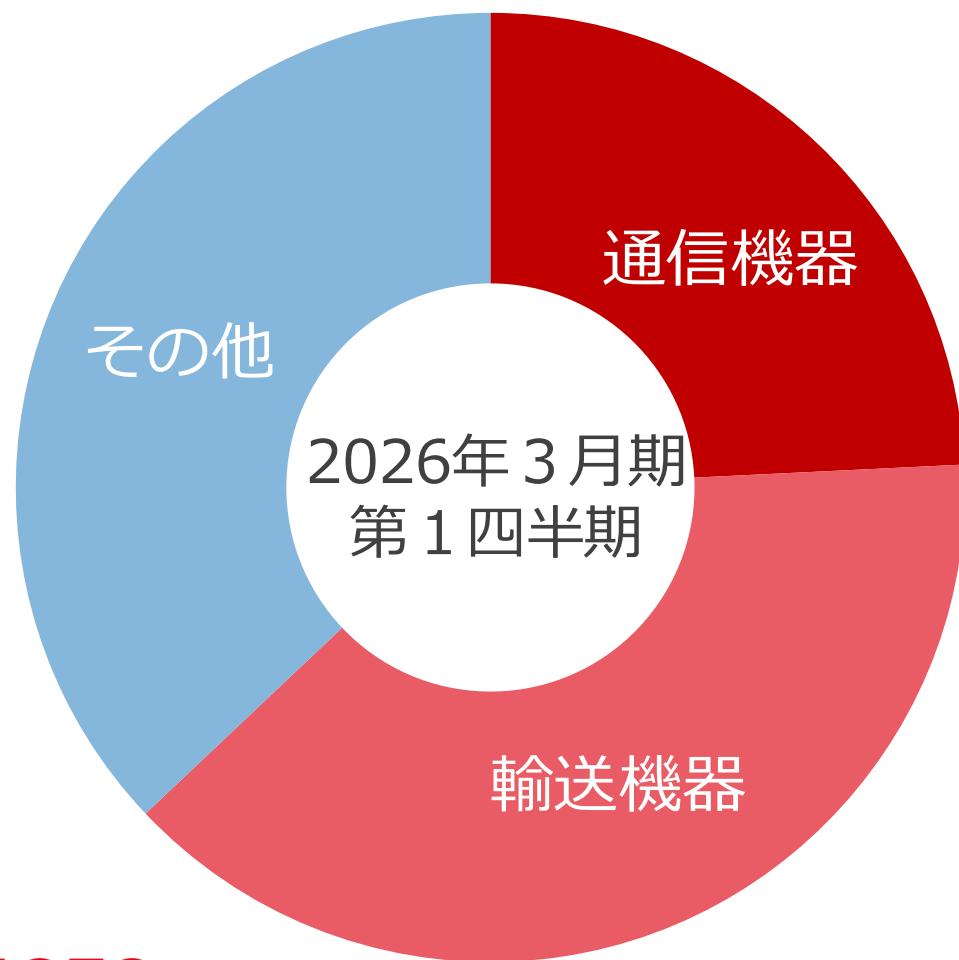
単位：百万円

	2026年 3 月期 第 1 四半期	構成比	2027年 3 月期 第 1 四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	153	100.0%	229	100.0%	75	49.2%
通信機器	37	24.2%	31	13.8%	▲ 5	▲ 15.1%
輸送機器	59	38.7%	69	30.3%	9	16.8%
その他	56	37.1%	128	55.9%	71	125.2%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【アメリカ】 売上構成

■ 販売構成の見直しや新規顧客の開拓により、前年同期に比べ業績が回復基調となりました。



【スイス】 売上構成

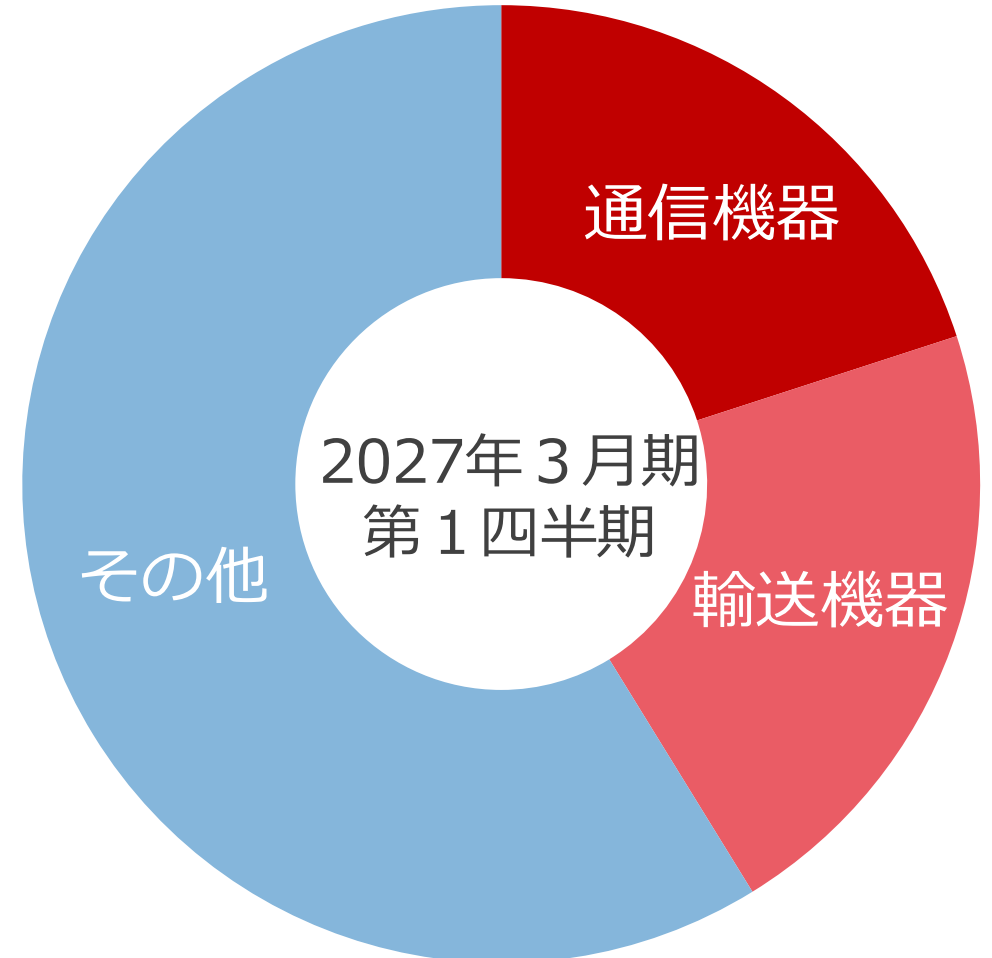
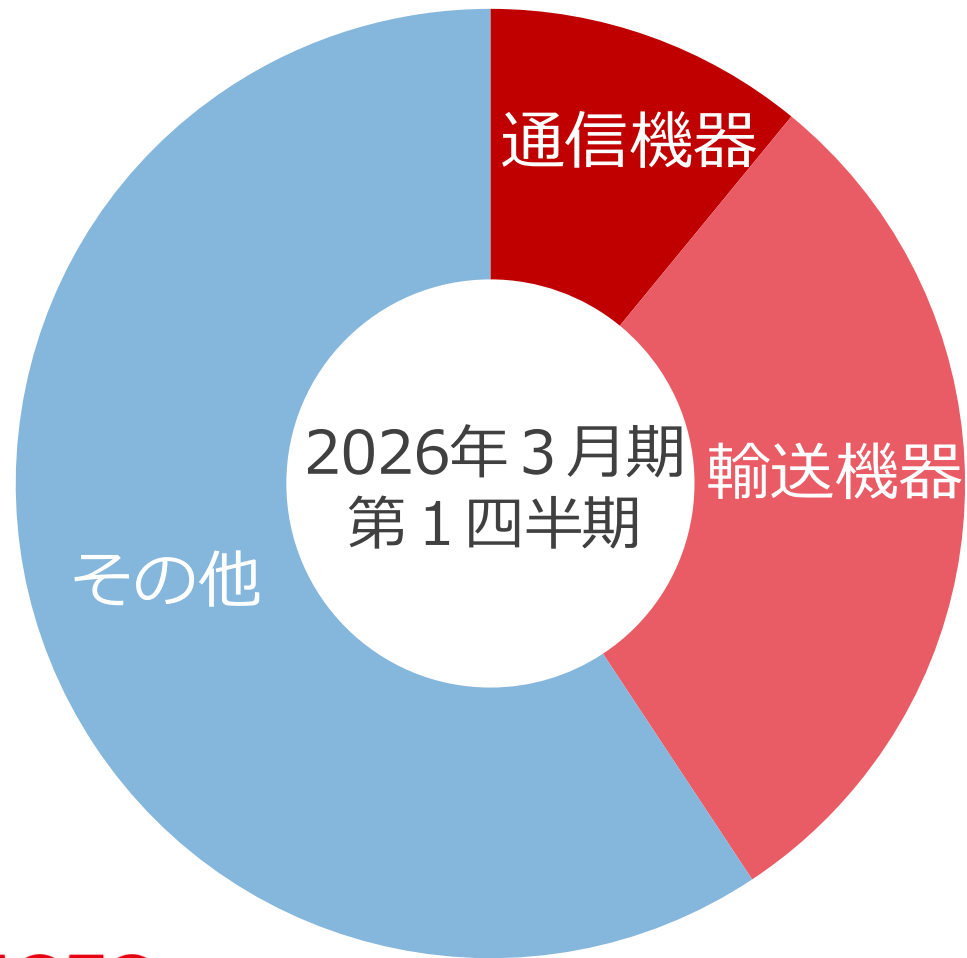
単位：百万円

	2026年 3 月期 第 1 四半期	構成比	2027年 3 月期 第 1 四半期	構成比	増減	増減率(%)
高機能材料事業	132	100.0%	83	100.0%	▲ 48	▲ 36.9%
通信機器	14	10.9%	16	20.0%	2	15.4%
輸送機器	39	29.8%	17	21.2%	▲ 21	▲ 55.1%
その他	78	59.3%	49	58.8%	▲ 29	▲ 37.5%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【スイス】売上構成

■ 白物家電は回復の兆しが見られるものの、自動車産業は引き続き低迷しています。



【中国】 売上構成

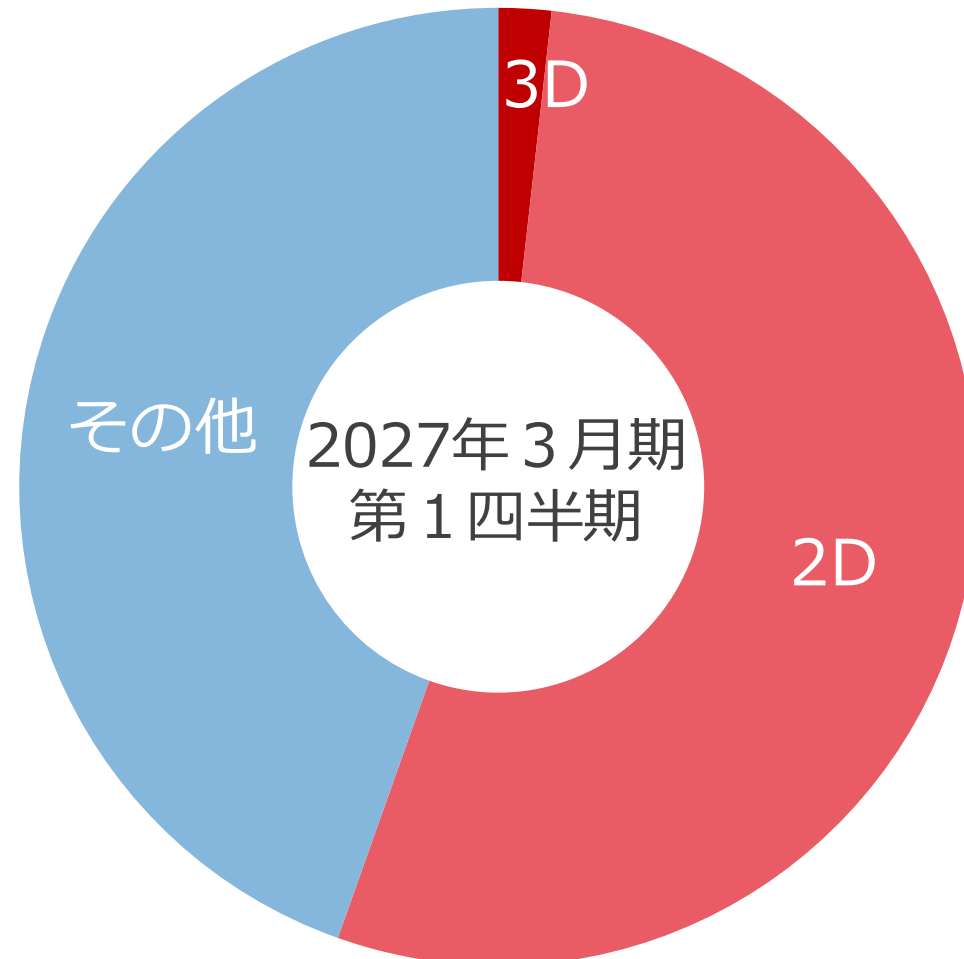
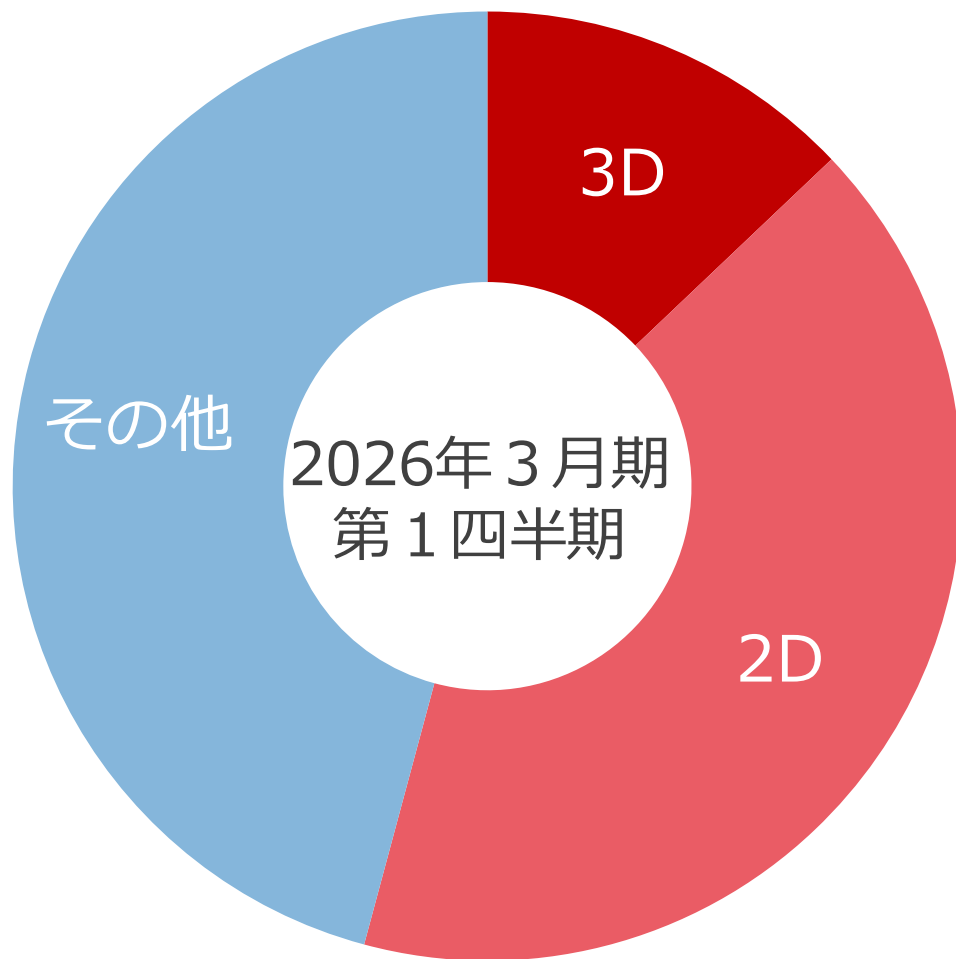
単位：百万円

	2026年 3 月期 第 1 四半期	構成比	2027年 3 月期 第 1 四半期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	10	100.0%	28	100.0%	18	181.8%
3D	1	12.9%	0	1.8%	▲ 0	▲ 61.1%
2D	4	41.3%	15	53.7%	11	266.3%
その他	4	45.8%	12	44.6%	8	174.1%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

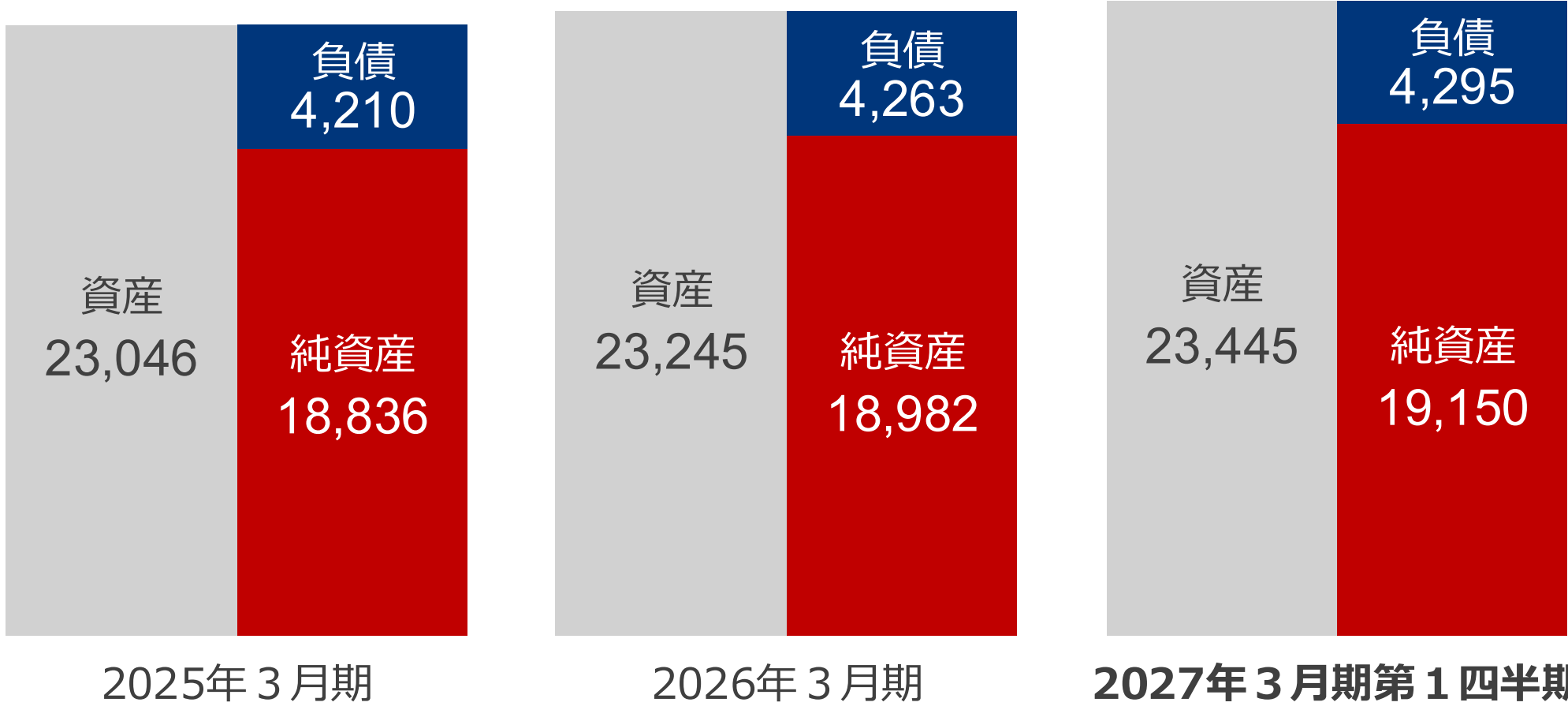
【中国】売上構成

- LiDAR案件の受注減が続いているものの、トンネル内ひび割れ調査案件やソフト開発が順調に推移し業績改善に寄与しました。



貸借対照表 [連結]

2025年 3 月期～2027年 3 月期 第 1 四半期比較



単位 : 百万円

2027年 3 月期 第 1 四半期 貸借対照表〔連結〕 主な変動要因

単位：百万円

資産	対前期末比	負債	対前期末比
200		32	
建設仮勘定	301	設備関係未払金	買掛金
原材料及び貯蔵品	168	228	147
受取手形及び売掛金	137	未払法人税等	賞与引当金
現金及び預金	▲633	▲164	▲148
		純資産	対前期末比
		167	
		その他有価証券評価差額金	85
		利益剰余金	61

1 2027年3月期 第1四半期 決算について

2 高機能材料事業

3 デジタルツイン事業

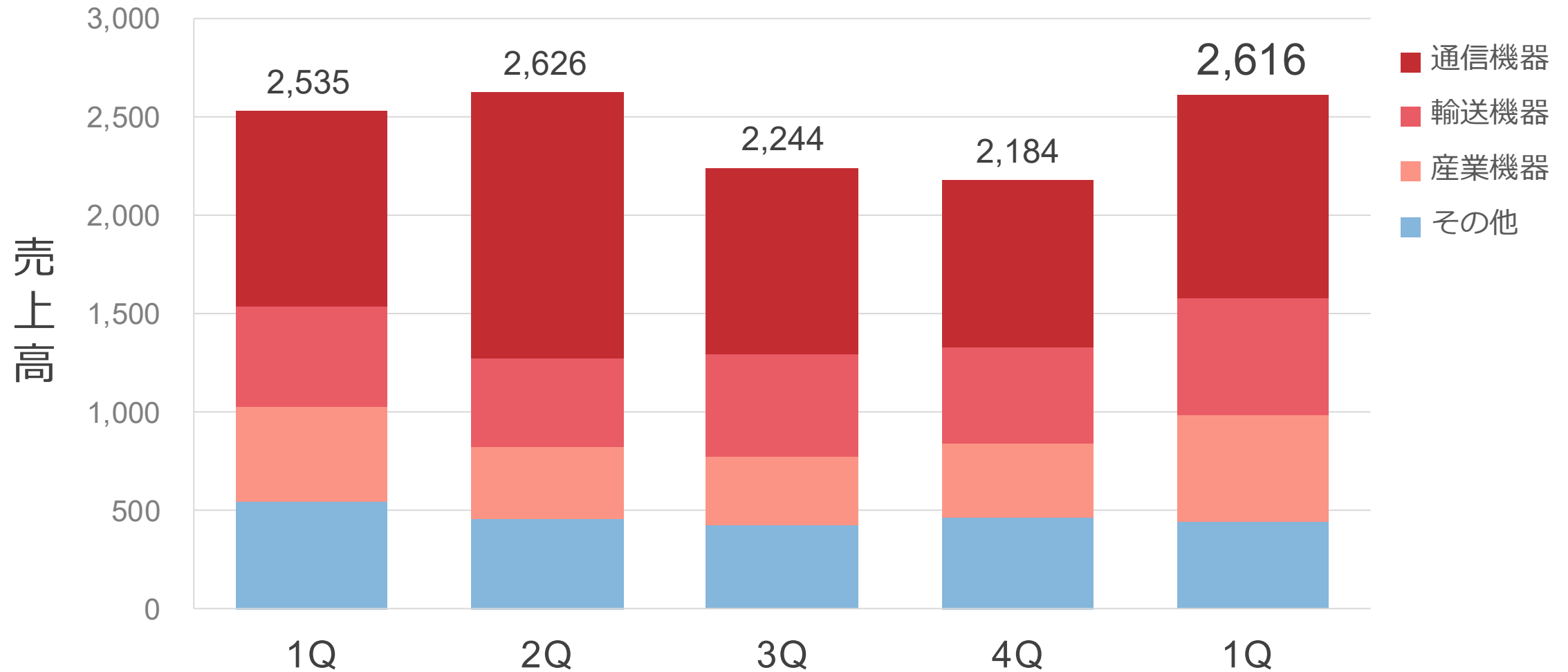
4 第6次中期経営計画進捗

5 会社概要

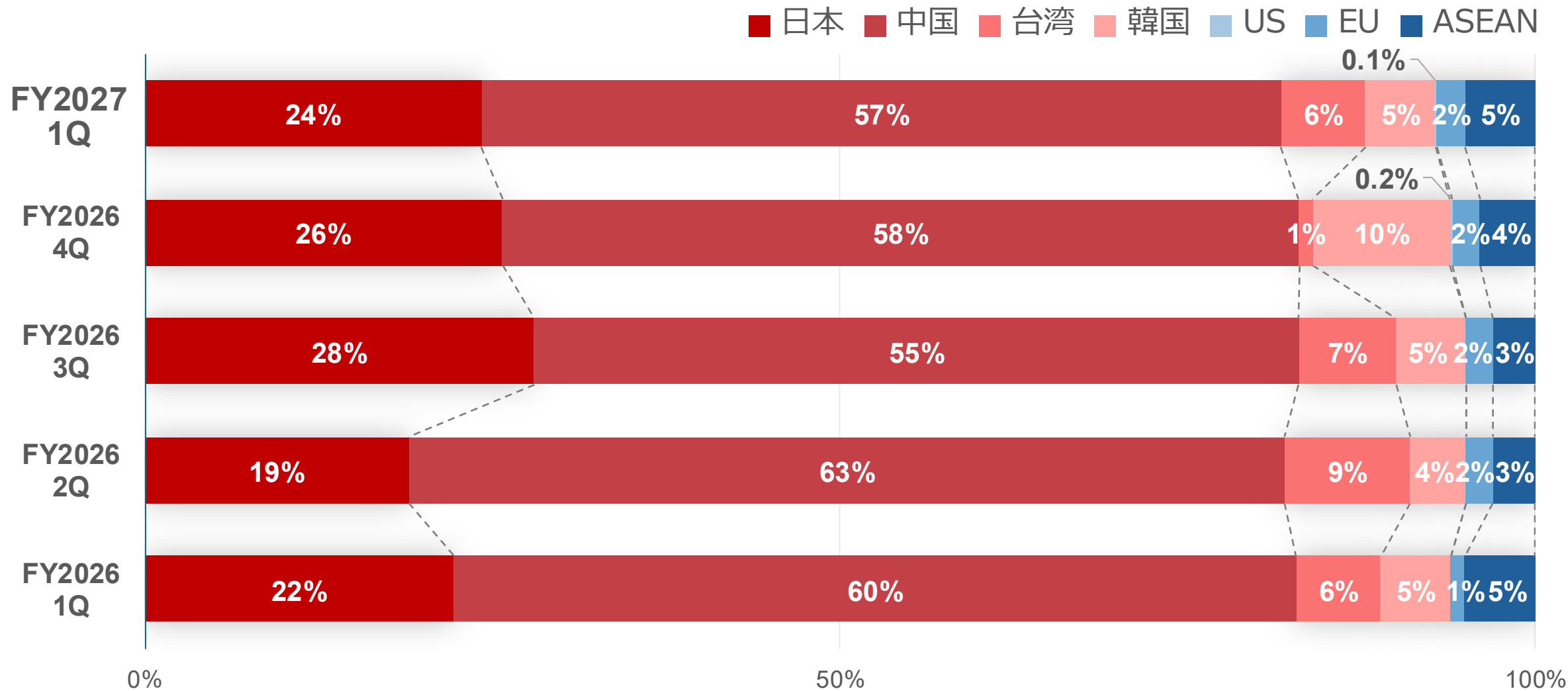


【日本】売上推移（四半期）

単位：百万円

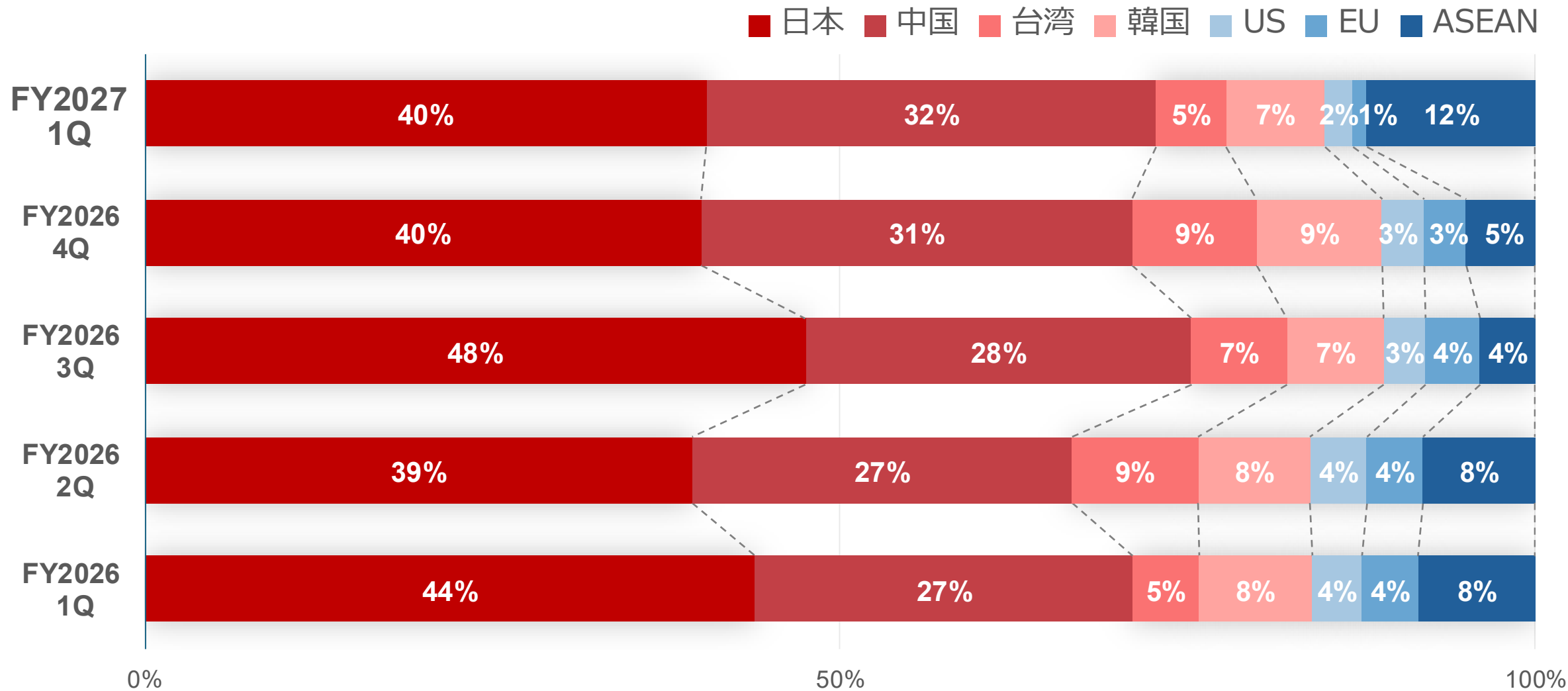


【日本】 通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※



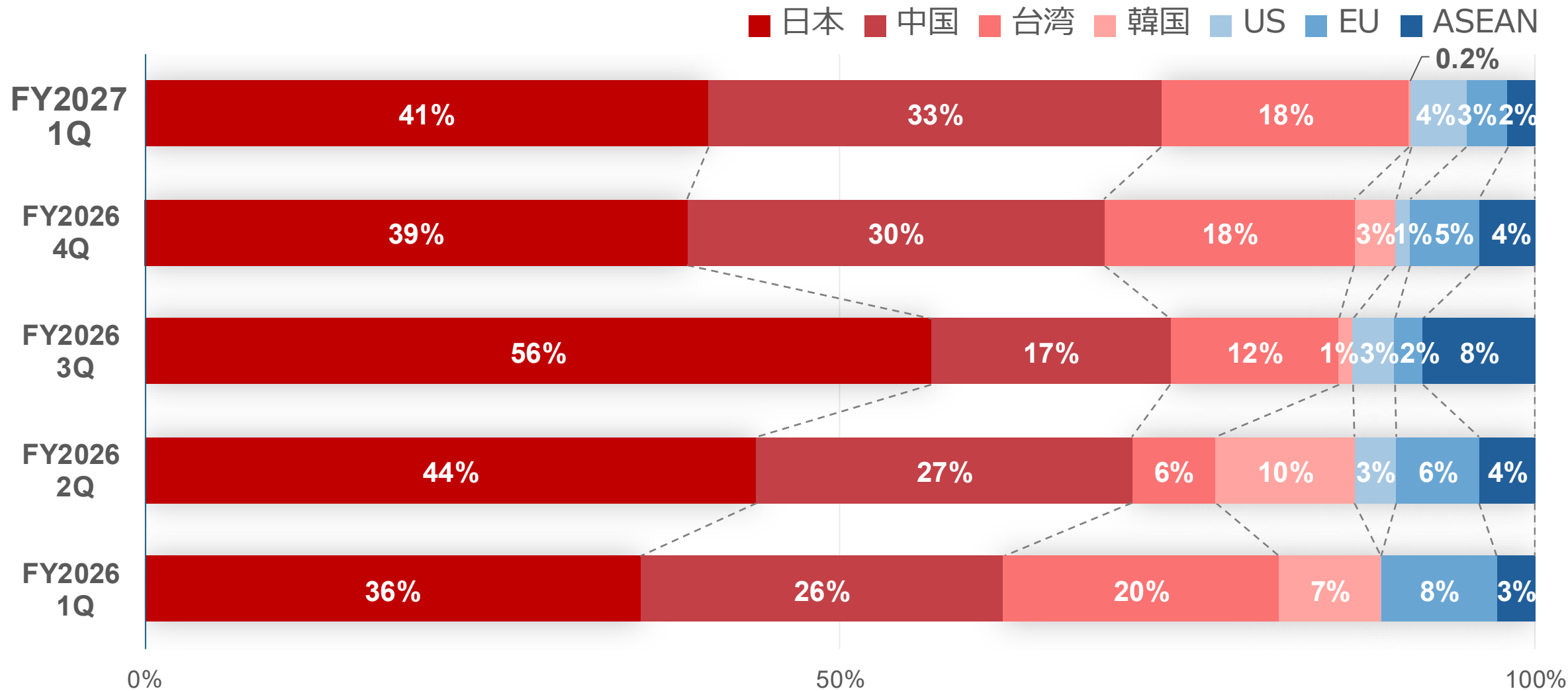
※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

【日本】 輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※



※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

【日本】産業機器 エリア別 主要製品 売上構成※

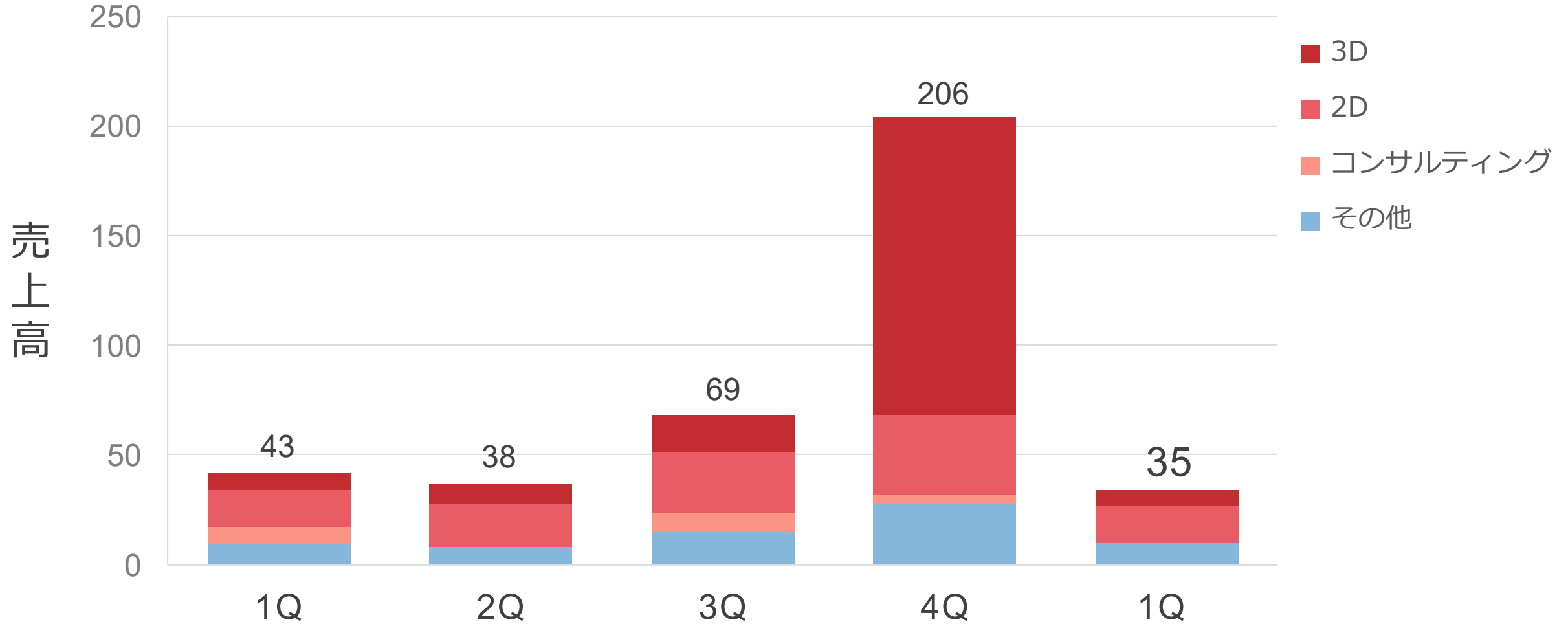


※主要製品：粘着、遮光、拡散、ハードコート、サンドブラスト

- 1 2027年3月期 第1四半期 決算について
- 2 高機能材料事業
- 3 デジタルツイン事業**
- 4 第6次中期経営計画進捗
- 5 会社概要

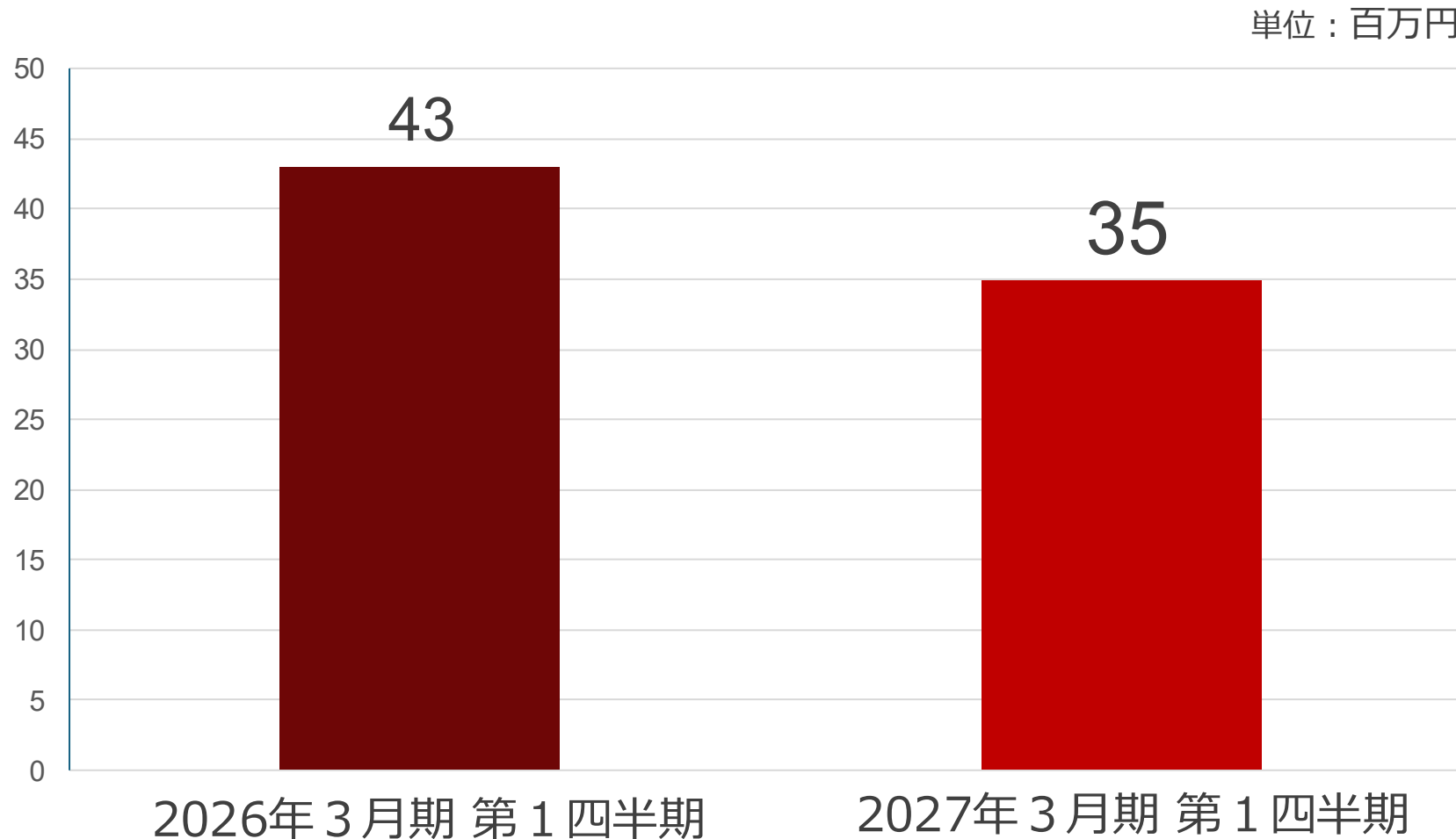
【日本】デジタルツイン事業売上推移（四半期）

単位：百万円



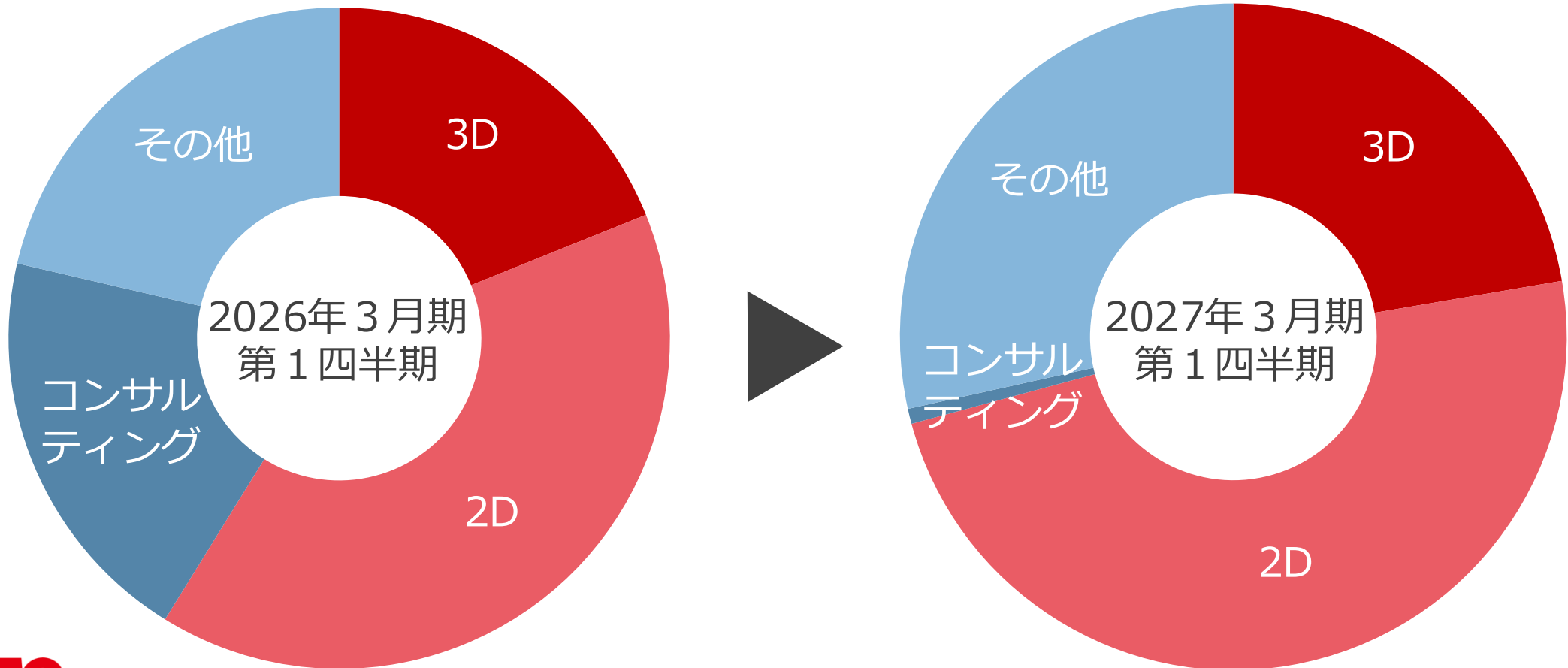
【日本】デジタルツイン事業売上高

- 建設分野における3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」が伸長した一方、BIM/CIM案件は減少傾向にあります。



【日本】デジタルツイン事業売上高構成

- 建設分野における3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」の新規案件や大型案件の受注を継続しています。また、2Dデータ作成ではトンネル内ひび割れ調査案件が堅調に推移し、売上に貢献しました。



- 1 2027年3月期 第1四半期 決算について
- 2 高機能材料事業
- 3 デジタルツイン事業
- 4 第6次中期経営計画進捗**
- 5 会社概要

2027年3月期 第1四半期の進捗

事業成長

- ・ **デジタルツイン事業 2028年3月期売上高 1,000百万円（目標）**

3D空間データ作成サービス「SPLAT TWIN」は大型案件や新規案件の受注を継続し、着実に実績を積み上げています。従来技術では困難だった高品質なビジュアル表現が評価され、点群データからの切り替えに関するご相談もいただいております。

- ・ **高機能材料事業（半導体） 2028年3月期売上高 400百万円（目標）**

AIデータセンター関連需要の拡大を背景に、半導体分野における工程材料の販売が好調に推移しております。今後も市場ニーズを的確に捉えながら、注力分野として拡販を進めてまいります。

- ・ **高機能材料技術 2028年3月期新製品※ 寄与率12%（目標） ※発売から3年以内の製品**

マテリアルインフォマティクスを導入し、実験データを活用した材料特性の予測や処方設計の効率化を進めております。運用を通じて活用を拡大し、開発スピードの向上を目指してまいります。

2027年3月期 第1四半期の進捗

企業マネジメント

・IT・DX戦略

全社へのAI導入に伴い、勉強会を実施し、部門ごとの業務に応じたAI活用を推進しております。AIを日常業務へ積極的に取り入れることで、業務効率と生産性の向上を図り、より付加価値の高い業務へ注力できる環境づくりを進めてまいります。

・企業価値向上

KIMOTOファームでは、有機JAS認証を取得している塩崎圃場に続き、新たな圃場での認証取得を進めており、2027年の収穫では収穫量の約半分を有機JAS認証米とすることを目標としております。環境に配慮した米づくりを通じて、地域社会や自然との共生に取り組み、企業価値の向上につなげてまいります。

第6次中期経営計画 資料および動画のご案内

- ▶ 資料PDFはこちらから

<https://www.kimoto.co.jp/application/files/9117/5015/1736/20262028.pdf>

- ▶ 動画のご視聴はこちらから

https://www.kimoto.co.jp/investor/news_20250523

- 1 2027年3月期 第1四半期 決算について
- 2 高機能材料事業
- 3 デジタルツイン事業
- 4 第6次中期経営計画進捗
- 5 会社概要**

会社概要

社名	株式会社 きもと（英語表記：Kimoto Co., Ltd.）
創立	1952年7月2日
代表者	代表取締役社長 小林 正一
所在地	〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
資本金	32億74百万円
従業員数	連結：417名／単体：341名（2026年3月末日現在）
売上高	連結105億円（2026年3月期）
上場市場	東証スタンダード市場（証券コード：7908）



創業当時
航空写真現像・図面複製業務の様子

創業社長
木本 氏仁

おかげさまで
数々の賞と選定を
いただいております



令和5年度 Nextなでしこ
共働き・共育て支援企業
（経済産業省選定）



日経サステナブル総合調査
スマートワーク経営編 3.5つ星
（日本経済新聞社）



日経サステナブル総合調査に
基づくスマートワーク経営に
優れた企業として選出
（日本経済新聞社）

- 建設事業関係功労者等
国土交通大臣表彰
- 日本国土調査測量協会より
国土交通大臣表彰を受賞

沿革



国内・海外拠点



- 国内主要拠点
- 海外主要拠点
- リモート拠点



国内 Japan

三重県／三重工場



コーティングマシン

塗工幅	MAX 1,600mm
塗膜厚み	0.5μm～40μm
Clean Class	
作業エリア	Class 1,000 / コーティング
マシンエリア	Class 1,000 /
コーティングヘッド	Class 100

茨城県／茨城工場



サンドブラストマシン

加工幅	MAX 1,300mm
加工厚み	25μm～350μm
加工粗さ	0.3μm～0.8μm

少量塗工機「APOLO」

塗工幅	MAX 300mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー



海外 Overseas

アメリカ／ジョージア州



コーティングマシン「Line2」

塗工幅	MAX 1,550mm
塗膜厚み	MAX 100μm
塗工	ダイ、グラビア、バー

少量塗工機「LC3」

塗工幅	MAX 770mm
基材	PET、アクリル、TAC、PC
塗工	ダイ、グラビア、バー

中国／瀋陽



データセンター

BIM/CIMデータ作成
3Dデータ作成
製造業DX向けデータ作成
アプリケーション開発

事業内容



機能性フィルム開発・製造
高機能性液開発・製造

高機能材料 事業

High Performance
Materials



働き方改革
製造業DX

コンサルティング 事業

DX Consultant

デジタルツイン 事業

Digital Twin



BIM／CIMデータ
アプリケーション開発



地域活性活動
米栽培
ダリア園運営

ファーム 事業

Kimoto Farm

KIMOTO

Building
a New Era
of Value





つながる“すべてのモノ”が環境にやさしくあるために
私たちのノウハウで貢献する未来

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。